

証券化市場の動向調査のとりまとめ

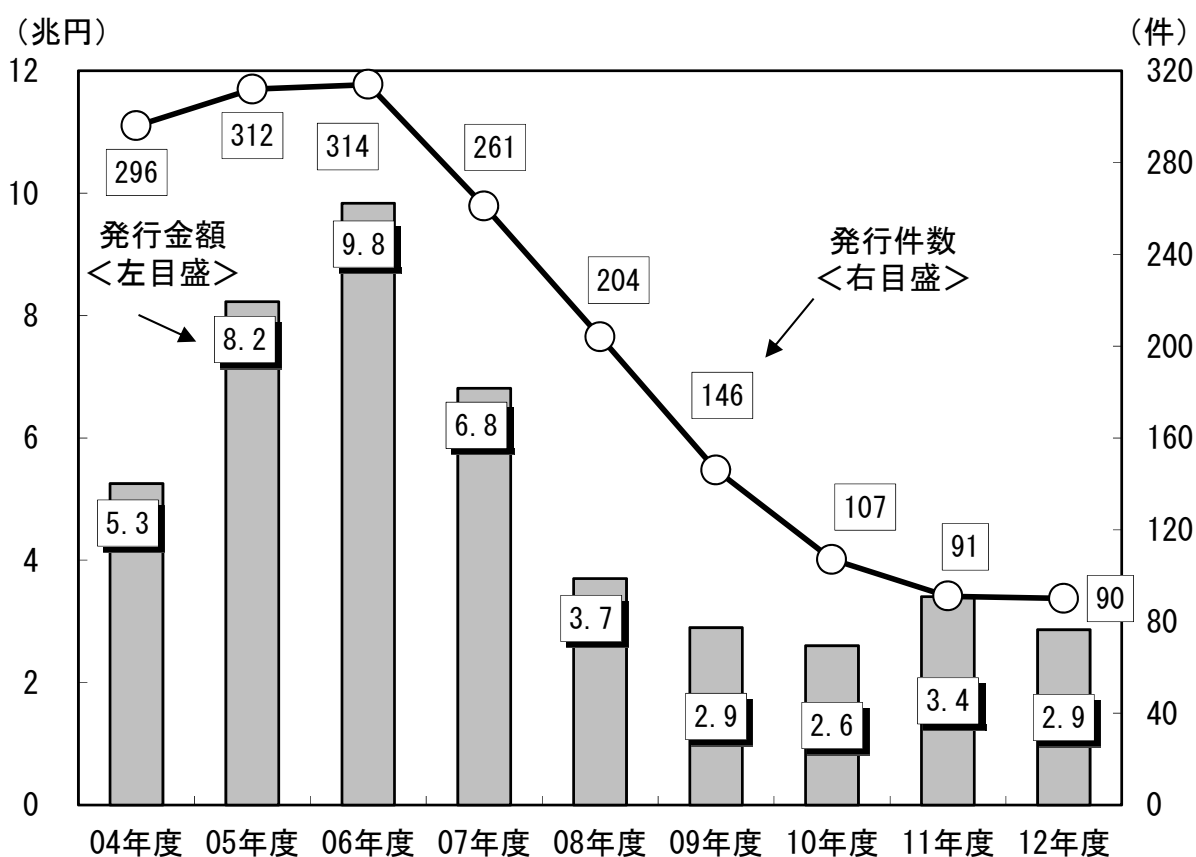
～2012 年度の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ＜<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2012 年度（2012 年 4 月～2013 年 3 月）の結果を取り纏めたものです。図表データについては、別紙をご参照ください。なお、今回より内容を一部変更しております。

1. 証券化商品全体の発行動向

2012 年度における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年度を下回った（金額 2 兆 8,641 億円＜前年度比▲16%＞、件数 90 件＜同▲1%＞）。件数については、調査開始以来、最小となった（図表 1）。

（図表 1）証券化商品の発行金額・件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円＜2012 年度分は暫定数値＞）

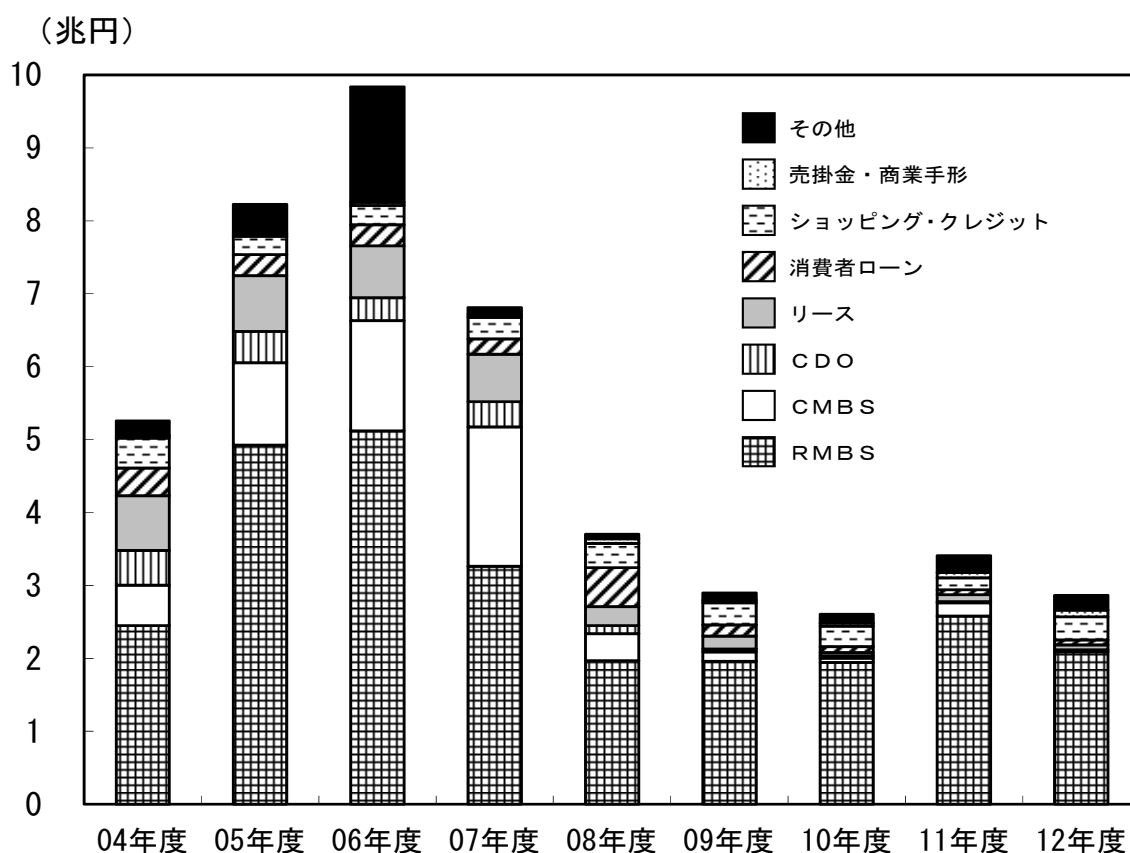
2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3	9.9	8.3	8.2

2. 裏付資産別の発行動向

2012年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「ショッピング・クレジット」が4年ぶりに増加した。さらに、「売掛金・商業手形」が3年連続で増加した。一方、「RMBS」、「CMBS」、「リース」、「消費者ローン」及び「その他」は減少した。「CDO」は発行がなかった。(図表2)。

(図表2) 証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者 ローン	ショッピング・ クレジット	売掛金・ 商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	20,888	293	0	699	650	3,186	897	2,028	28,641
前年同期比(億円)	▲4,917	▲1,557	▲125	▲270	▲20	+1,552	+188	▲273	▲5,422
前年同期比(%)	▲19	▲84	▲100	▲28	▲3	+95	+26	▲12	▲16
構成比(%)	73	1	0	2	2	11	3	7	100
(参考)発行件数	27	2	0	3	3	21	30	4	90



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

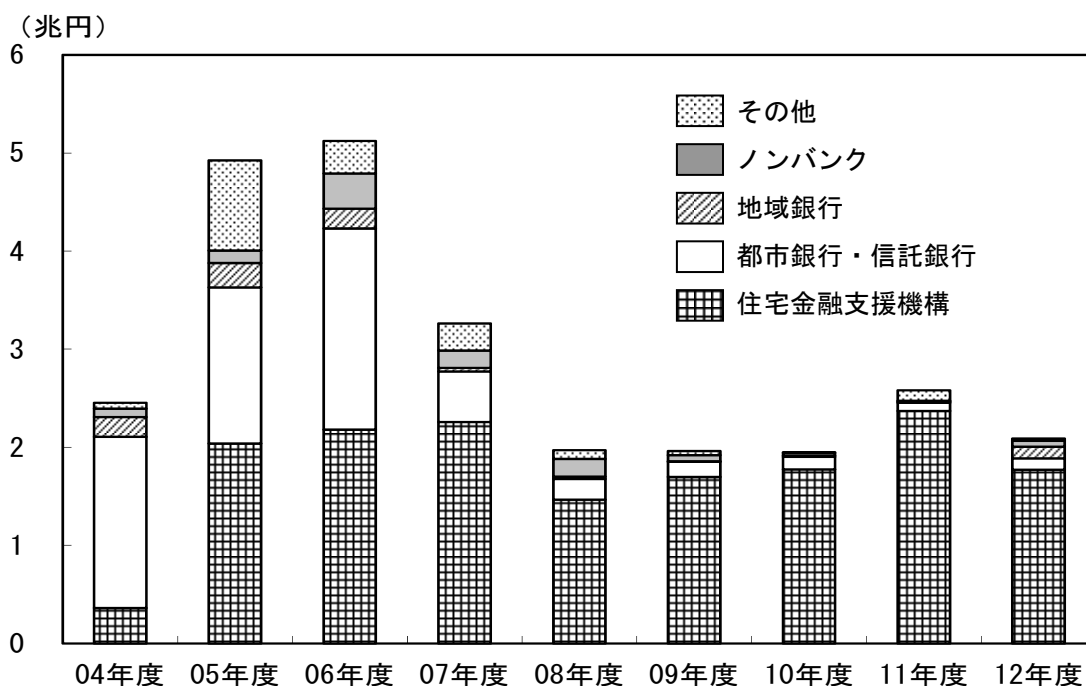
「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

RMBSの発行動向

① オリジネーター別

RMBSの発行金額（2兆888億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が85%（1兆7,717億円）を占めた（図表3）。

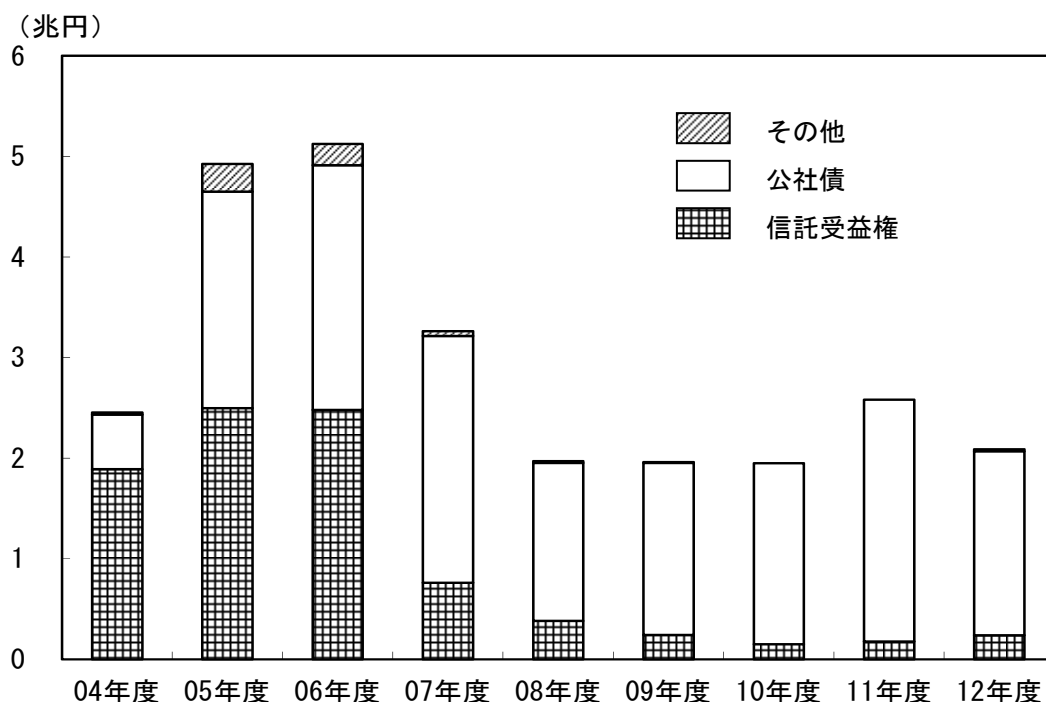
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② 発行形式別

RMBSの発行金額（2兆888億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が87%（1兆8,267億円）を占めた（図表4）。

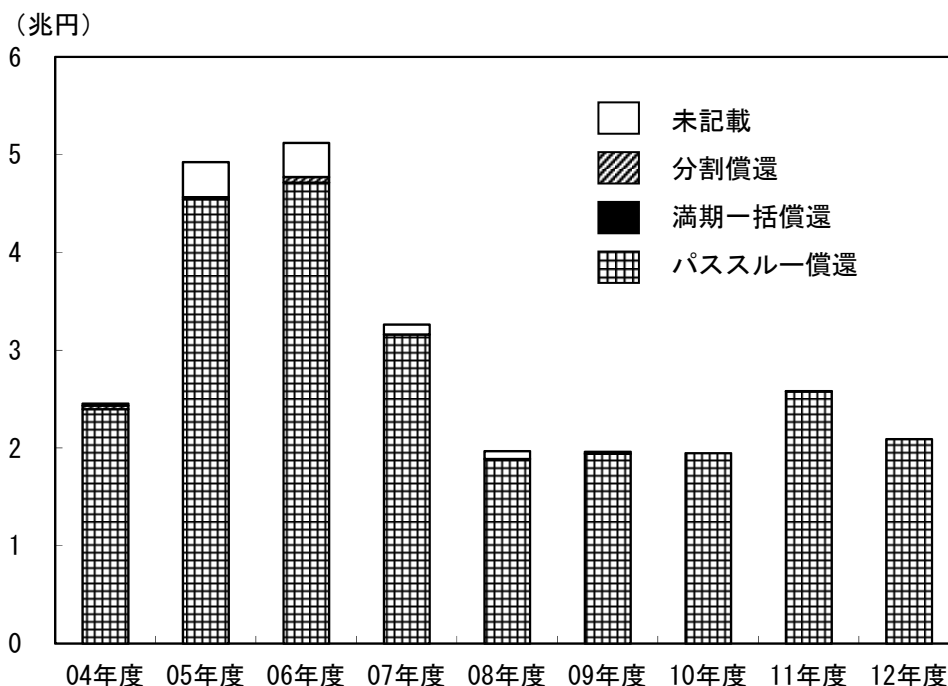
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ 償還方法別

RMB Sの発行金額（2兆888億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

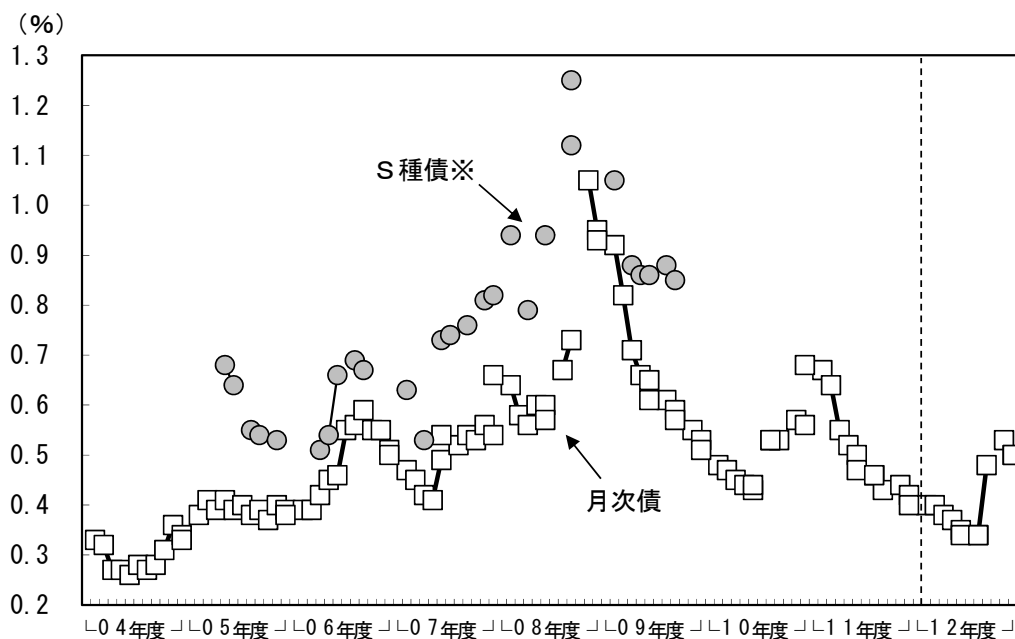
（図表5）RMB Sの「償還方法」別発行金額



④ 発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMB S（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2012年11月まで縮小した後、2013年2月まで拡大傾向を辿り、3月発行分では再び縮小した。（図表6）。

（図表6）住宅金融支援機構RMB Sのローンチスプレッド

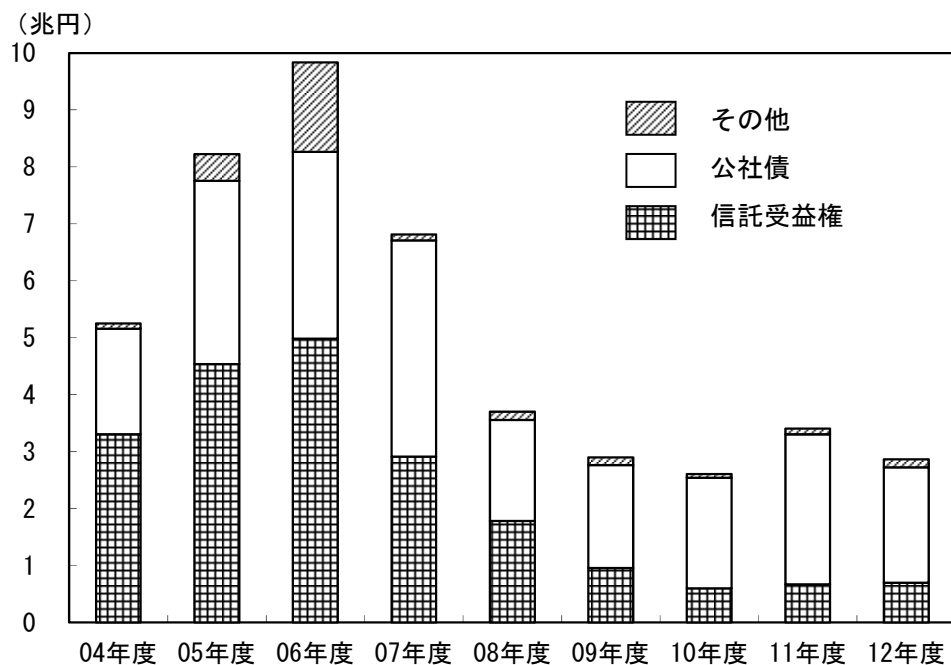


※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

3. 発行形式別の発行動向

2012 年度における証券化商品の発行金額（2 兆 8,641 億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が 71%（2 兆 267 億円）を占め、次いで「信託受益権」が 24%（6,970 億円）を占めた（図表 7）。

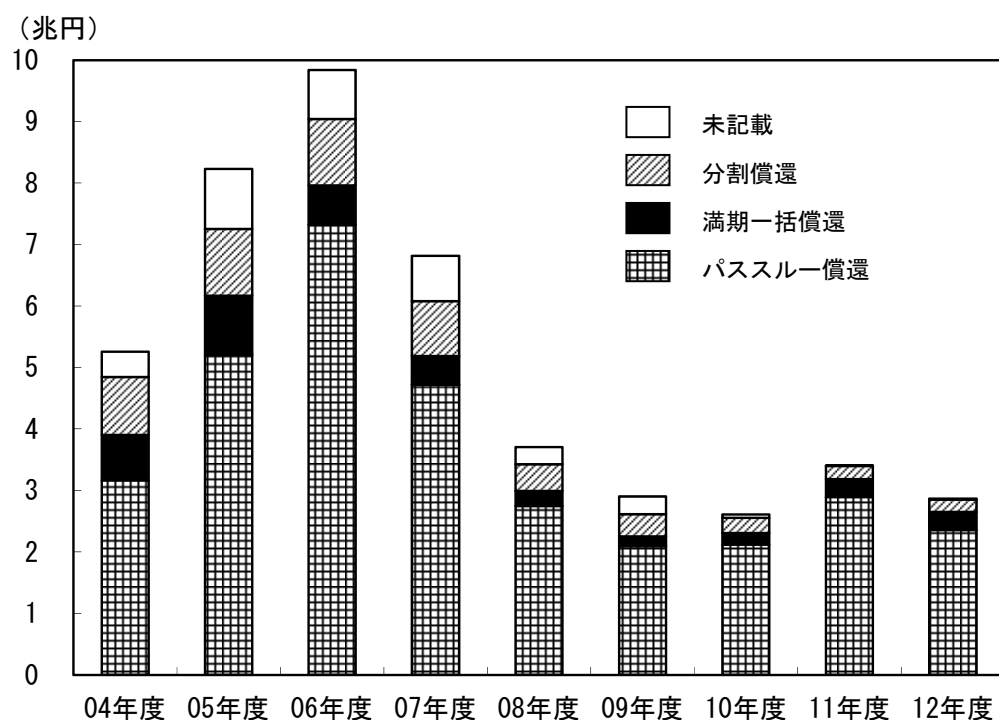
（図表 7）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

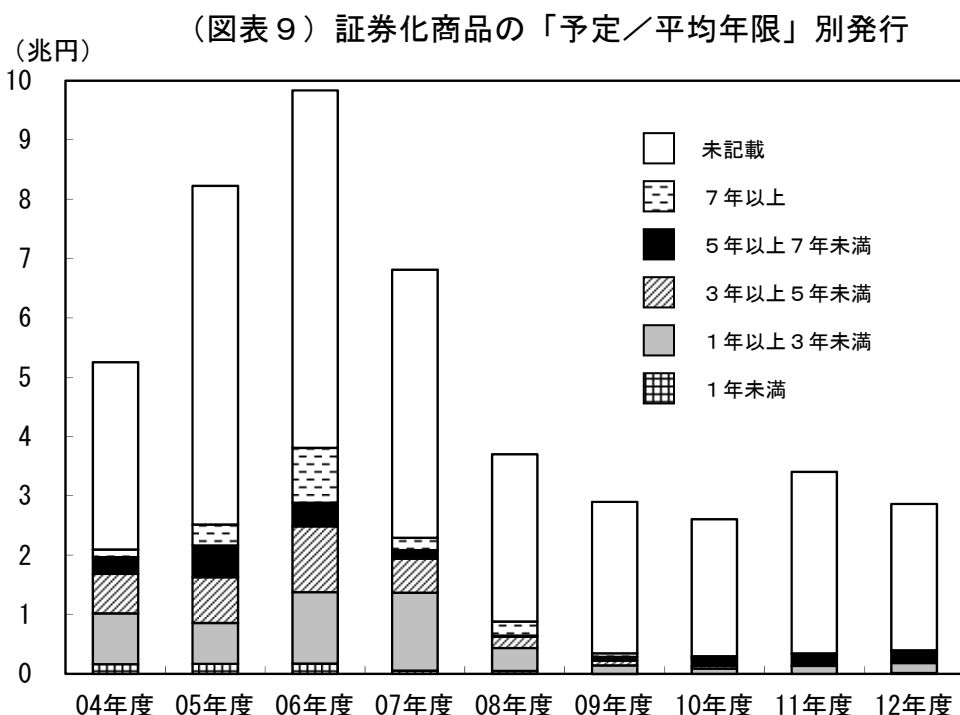
2012 年度における証券化商品の発行金額（2 兆 8,641 億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 82%（2 兆 3,518 億円）を占めた（図表 8）。

（図表 8）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2012 年度における証券化商品の発行金額（2 兆 8,641 億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が 86%（2 兆 4,669 億円）を占めたが、記載のある中では、「5 年以上 7 年未満」が 7%（2,000 億円）を占め、次いで「1 年以上 3 年未満」が 6%（1,686 億円）を占めた（図表 9）。



6. 格付別の発行動向

2012 年度における証券化商品の発行金額（2 兆 8,641 億円）を「格付」別にみると、「A A A」が 87%（2 兆 4,810 億円）を占めた（図表 10）。

